

教育方法論 と 総合的な学習の時間の指導法		担当教員：椿 達	2単位
設 題			
次の2題について答えてください。			
<p>1 教員免許状取得予定の教科（中学校数学，高校数学，情報，商業のいずれか）の1時間（50分，中学校45分は目安に）の授業を想定した学習指導案を作成してください。</p> <p>[注]</p> <p>① 授業の単元（授業範囲）はお任せします（教育実習時の単元を予想するとよいと思います）。</p> <p>② 原則，普通教室での一斉授業，教師はパソコンの画面（スライドなど）をプロジェクターに投影できるという状況で，授業を計画してください。</p> <p>③ 学習指導案のフォーマット（ワードファイル）は無限大キャンパスのマイページからダウンロードできます。このフォーマットの項目は削除するなく，未定のところ（授業日時や生徒数，指導教諭名など）を除きすべての項目を埋めるようにしてください。特に使用教科書名は正確に記入してください。</p> <p>④ 授業で使用するプリントやスライドなどがあれば，それも提出してください。</p> <p>⑤ 学習プリントの別添資料「学習指導案の作成について」を参考にしてください。</p> <p>⑥ 教科書はご自身が高校生のおきに使用していたものでもかまいません。科目名も問いません。教育実習を想定すると，教育実習校で使用されている教科書を用いることが望ましいと考えます。</p> <p>2 「高等学校における総合的な学習の時間は，学習の質的向上を目指して『総合的な探究の時間』と名称変更して再編されることになっている。同じ学区内の小学校と中学校で連携して指導計画を構想したり，中学校での取り組みを踏まえて高等学校の『総合的な探究の時間』を構想するなど，計画作成にあたり，小中高の連続性を意識することも必要となってくる」（教科書B，p.44）とある。</p> <p>しかし現実には「…総合的な学習の時間の本来の趣旨を実現できていない学習活動を行っている学校，進路指導や学校行事として行うことが適切であるような活動を行っている学校があるという指摘もあり，小・中学校における取組の成果の上に，高等学校にふさわしい実践が十分展開されているとは言えない状況にある」¹⁾との報告もあり，行事等の読み替えに多くの時間を費やしたりして，必ずしも本来的な目標を達成するような学習活動になっていない高校が多いとも指摘されている。</p> <p>では，それぞれの学校（特に高校）はどのように小中高の連続性を担保したり，「総合的な学習（探究）の時間」の充実を図っていくべきか。第11～15講での学びや自らの学校体験も踏まえて，あなたの考えを述べなさい。</p> <p>¹⁾ 中央教育審議会初等中等分科会教育課程部会・生活・総合的な学習の時間ワーキンググループにおける審議の取りまとめ（平成28年8月26日），p.3（文部科学省ホームページ）。 https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/09/12/1377064_2.pdf（2024年2月2日閲覧）</p>			
作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」			
ワープロ	用紙等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）		
筆記	筆記用具：ボールペン（黒）		
	用紙：コピー用紙等（無地）		
文字数等	<p>■ 文字数は制限なし。</p> <p>■ 通信教育部標準フォーマットの形式に従って作成・印刷すること。</p>		

注意事項

- ②は1行目に学籍番号, 氏名を明記する.
2行目: 空行
3行目から設問番号を記し, 解答内容の記述していくこと.
- 参考・引用した文献やウェブサイトがあれば, 各設問の解答の最後に必ず参考・引用文献名やウェブサイトのURLを記載してください(下記の例参照). さらに論述の中に自分の考えと引用が混在するときには, どこからどこまでが引用であるかがわかるようにしてください. くれぐれもウェブサイト上に掲載された文書や図表の切り貼りなどで完了することのないよう, オリジナルなレポートの作成をお願いします.

<例>

参考・引用文献

児美川孝一郎, 2019, 『高校教育の新しいかたち』 泉文堂, 5-10.

松下良平, 2019, 「『主体的・対話的で深い学び』の計り知れない困難」 グループ・ディダクティカ編

『深い学びを紡ぎだす 教科と子どもの視点から』 勁草書房, 10-15.

文部科学省, 2018, 「高等学校学習指導要領」, 文部科学省ホームページ (2024年1月31日取得,

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm).

※日本社会学会「社会学評論スタイルガイド」(第3版)を参照していただきたい.

chrome-extension://efaidnbmninnibpcapjpcglclefindmkaj/https://jss-sociology.org/wp/wp-content/uploads/2022/12/jsr_guide3.pdf